

BE WILD

2008.10

日本ボーイスカウト阿見第1団
<http://www.bs-ami.net>

WELCOME



● ボーイ隊の手作りの「キャンプ場歓迎ゲート」が完成。

● 育成会の活動について

育成会長 増野 周

9月の総会も無事終了し、今年度の活動が力強く開始されております。各スカウトの成長を、育成会として、楽しみにしましょう。

さて、育成会とはどんな組織なのでしょう。殆どの構成員は保護者です。いったいどんなことをするのか。いまの当団で、育成会組織として集まるのは総会のみです。あとは、その時々々の育成会員の個別の活動となっております。会員の活動の第一は自分のお子さんのスカウト活動をしっかり親としてサポートすることです。次に各個人に求められるのは、資金の援助、そして時間と能力の提供です。

資金の援助は育成会費として団の活動費として実行されております。

時間の提供。これは労力の提供でも

あります。各隊あるいは団活動の時リーダー達の活動を裏方として手伝ってあげてください。自分の子供だけでなくスカウト全体のために、活動に参加しましょう。

能力の提供。各育成会員は皆さんそれぞれの能力をお持ちです。それをスカウトのために提供してください。能力と言っても難しく考えないでください。料理の得意なお母さんは料理のつだいを。大工仕事の好きなお父さんはそのノウハウを。英会話の得意な方はスカウトの技能章の手伝いを。それぞれのできる事を、スカウト活動の支援という観点からみてください。

残念ながら皆さんの得意技を団が把握しておりません。ぜひ、いろいろな隊からのお知らせをみて自分から手を

あげてください。

こんなことが集まって育成会活動になるのではと思っております。今年度は、ただ見ているだけ、お子さんを参加させるだけでなく、一歩進み出てスカウト活動に参加してみてください。



阿見第1団の10月のトピックス

● ありがとう“エリア88”

25日は、旧団キャンプ場の「エリア88」に設置してある団倉庫の解体作業を行いました。元ボーイ隊長の栗原様の庭を借用して、団倉庫3棟を設置していましたが、新キャンプ場の開設

に伴い、移設できる1棟のみを、今年の4月末に新キャンプ場に移し、移設できない2棟を25日に解体しました。廃材を運び出し、土地を整地・整頓・清掃後、栗原様に返却して、キャンプ場としての役割を終了しました。「エリア88」長い間ありがとう。



BVS 隊の10月の活動

● 大きな声でガンバロウ

阿見地区、美浦地区の町民運動会にて赤い羽根共同募金を行いました。

最初は、みんな恥ずかしくて小さな声でしたが、だんだん慣れてきて大き



10月12日

な声で、募金活動をしていました。中学生にも、募金してもらい、とても楽しそうに活動していました。

スカウト、保護者のご協力により社会奉仕に役立てられたと思います。

● 町のイベントに参加

10月26日は、阿見町の「さわやかフェア2008」の見学を行いました。「創療祭」（県立医療大学）と「あみ商工まつり」が同時開催されており、とてもぎやかでした。飯塚副長は商工まつりで土浦ツェッペリン倶楽部テントでカレーとグッズを販売しており、

● ビーバースカウト隊

幼稚園年長～小2：8月



10月26日

みんなで遊びに寄らせてもらいました。

消防車ではみんなで上に乗せてもらい、おもいきり遊びました。

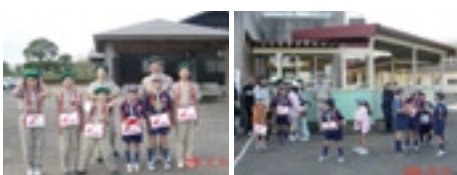
デジカメが当たる抽選会では、残念ながら誰も当たりませんでした。いろいろなイベントに参加、とても楽しそうでした。

CS 隊の10月の活動

● 赤い羽根の共同募金

10月12日は阿見の、13日美浦のそれぞれの運動会会場でビーバー・ボーイ隊とともに「赤い羽根共同募金」の活動を行いました。

最初は小さかった声が次第に大きくなり、運動会に参加される方々に、積極的にあいさつをし、募金の呼びかけが上手にできました。また募金だけではなく、赤い羽根を渡したり、胸につけてあげたり、スマートに募金活動が行えました。集まった募金は阿見・美浦の社会福祉協議会に届けました。自分たちの善意の行動がいろいろな形で社会に役立って行くことを実感するきっかけの活動となったと思います。



● デイキャンプ 10月19日

エリア67で、カブ隊の活動が本格的にスタートとしました。

前半は基礎訓練（隊列の並び方、カブ・コール、国旗儀礼、カブ・サイン、等の基本動作）を行い、工作ではシーターポン（簡易ざぶとん）をデン・リーダーとスカウトが協力しながら、自分の好きな絵柄をデザインして、作りました。そのシーター・ポンを持って、記念撮影もしました。

カブ弁をいただく前に、行う儀式『黙想・いただきます、ごちそうさま、』の意味も説明して食べ物を食べることの感謝、残さず食べる、いただくという、食事の大切な要素も一緒に学びました。

後半はカブ歌集を使った、歌の練習（特に連盟歌・光の路は2番まで歌集を見なくても歌えるように）をCDを使ったり、ギターのリズムをしたり、皆で、大きな声で、歌えるような工夫をして行いました。

● カブスカウト隊 小2：9月～小5：8月



そして訓練の最後は各年代別にロープ結びを行いました。うさぎスカウトは「本結び」、しかスカウト・くまスカウトは「ひとえ継ぎ」・「えび結び」等少々難度の高い結び方に挑戦して、うまく上手に結ぶ・解くというロープの扱いを楽しそうに時間を忘れるくらい、夢中でやりました。

また、閉会式の1時間前に保護者の方に来ていただき、保護者説明会を開きました。内容は、年間活動費の納入、カブ・ブックの見方・記載の仕方、家庭でのスカウトとの話題の共通認識等、よりいっそうスカウト活動に、保護者の方に関心をもっていただき、スカウトと一緒に活動に出てきてもらえるよう隊長から説明しました。



ちょっと遅くなりましたが、11月のはじめに今年度も新入歓迎キャンプを実施しました。久しぶりに3班での活動となり、楽しく活動できました。

初日は、設営とキャンプファイアを行い、先輩と新入の親睦を深め合いました。いつもは、苦勞する食事も、この日は、意外？と味付けが上手いきき、満足した夕食を取れたようです。

● 新入スカウト歓迎キャンプ!! 11月1～2日

翌朝は、皆寝坊して、配給の合図から活動が始まりました。火付けは、そこそこうまくできたように見えたが、結局片づけが遅れ、スケジュールより1時間も遅れて、朝の点検を受けました。次回からは、時間通り活動が進むよう、班作業の役割分担、協力、時間管理等の改善につとめましょう。

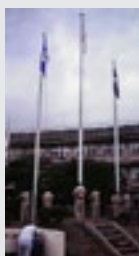
この日のプログラムは、班サイトおよびゲートの看板作りです。各班で相談しながら、杉板にデザインし、ペンキで色塗りをしました。出来栄は、とっても素晴らしいと思います。

ビーバーやカブのみんなも、一度キャンプ場で班の看板をチェックしてみてくださいね。



● 町民運動会奉仕 10月12日

阿見町民運動会は、すがすがしい秋晴れの中で行われました。今年もボーイ隊は、朝日中・竹来中会場で開会式の国旗掲揚と閉会式での国旗降納の役目を実行委員会から任せられました。式の間は中央公民館で、ゲームを交えて進歩課目にチャレンジしました。



【解説：班のあり方と機能】

ボーイ隊は班長を中心とした「班」が、それぞれ自治活動しています。先輩指導者が後輩に教えていくことで、さらに自分を高めていくこと、それと班の全員がそれぞれ任務を持っていること、そして班員の意見が班の活動に反映されることなどが特徴です。隊は隊指導者の下で班長会議によって運営されていきます。また、隊活動に必要な技能・知識などは、基本的に隊指導者から班長・次長に伝授され、班長・次長は、それを班員に伝授し、班対抗意識でそれを各自が高めていくという教育手法がとられます。このように、班の結束とリーダーシップ、班員の理解と協力意識と向上心を芽生えさせ育てていきます。

● キャンプ場をさらに使いやすいように整備 11月2日

10月は試験月間、そのため隊集会は予定を1週間遅らせての実施となりました。そこでドエラいことが発覚したのです。それは、我々が「スカウトハウス」と呼んでいたものは、実は「ベンチャーハウス」だったということなのです。どうやら、スカウトハウス建設計画は別に着々と進行しているようで、ベンチャーハウスは資金・材料調達、設計施工まですべて自分たちでやらなければならないらしいのです(@_@:)

しかし、それは願ってもないチャンス！ 何の制約もなく自由に作れるってことだ。よし、徐々に具体的な姿が見えてきた。次回の臨時隊会議で、プロジェクトの詳細を詰めていこう。

ということで、ボーイ隊のキャンプ

の支援に取りかかりました。

まず、最初に行ったのは、キャンプ場入口左側にあるキャンプファイア場（ファイアサークル）の整備です。大谷石を火床と周りに配置し、着座用の丸太を設置して立派に完成。そこでふと思いついたのは、「営火長は北極星を背に座る」こと。慌ててコンパスで方角を調べて見ると、なんと真北！！素晴らしい、まさに野生の勘。ただ者ではないベンチャー隊なのでした。

次に、広場周囲の木の枝の剪定。広場が明るくなりました。また、ちょっとしたハプニングで国旗掲揚柱がちょっと短くなってしまいましたm(__)mその後、カブ指導者たちの加勢によりカブエリアの整備をしました。陽の光



が差しこみ見違えるほど明るく快適になりました。後は倒木の根の抜根を残すのみです。そのときは育成会の皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

団 & 団委員会の 10 月の活動

● いのう姉妹健在です!～町子連活動奉仕 10月18日

10月の団の活動は、18日に行われた阿見町子供育成会連合会（町子連）主催の野外活動体験での講師奉仕である。今年で3年目になりますが、飯盒炊飯・キャンプファイアー体験の指導を行いました。野外活動体験には、100名以上の小学生が参加しました。飯盒炊飯体験では、米を研ぎ、かまどの火を熾し、煙が目目に沁みながらも、無事に美味しいご飯が炊き上がりました。メインイベントのキャンプファイ

アー体験では、阿見1団が誇る「いのう姉妹」が中心になって、ソング・スタンツで盛り上がりました。



保護者の皆様へ お願いとお知らせ

● クリスマス集会・予告

今年の12月21日のクリスマス集会は、ちょっと趣向を変えまして、劇ではなく音楽を中心とした「表現」に関するプログラムを展開します。具体的には本郷ふれあいセンターの舞台上、10分間のステージ・ショーを構成・出演してもらおうというものです。

今月の育成会長の言葉にもありますように、ビーバー隊はもちろん、カブ隊の保護者の皆様もスカウトと一緒に出演をお願いします。特にカブ隊では、組ごとに発表をしますが、人数が少なくなることもあり、主役のスカウトをバックアップするように、文字通りそこに一緒に出演して下さるようお願い致します。各隊長から隊通信を通じて要請がありましたら、ご対応方よろしくをお願い致します。BS隊、VS隊、RS隊のステージは、それぞれスカウトとリーダーで行う予定です。

それから、育成会のお母さん、お父さんも、それぞれチームを組んで出演いただく予定です。ぜひ一緒に楽しんで集会を盛り上げてください。（練習日等については、後日ホームページでお知らせします）

また、ボーイのお母さんには、クリスマス集会用のお菓子作りをお願いがいくと思いますので、ご協力をよろしくをお願いします。

● 活動時のルール・・・

今回は、保護者の皆さんに、隊活動時に知っていただきたいルールについてお知らせします。

スカウト活動は、教育活動として実に様々な意図をもって活動を行っています。そのため、プログラムを中断させないために、また、スカウト本人および他のスカウトへのいろいろな形での影響を最小限にするために、活動中は、原則として自分のお子さんにコンタクトしないようご配慮いただきたいのです。「一緒に活動に参加」ということは、スカウトと同じことをするという意味ではなく、育成会長の言葉の通り「時間と能力の提供」ということです。サポーターとして活動を支援しながらスカウトと時間を共有することとご理解ください。ぜひともご理解とご協力をお願いいたします。

● 忘れ物を届ける

忘れ物等は直接手渡さず、最寄りの各隊リーダーにお渡しください。担当リーダーからスカウトに渡します。

● 活動途中のお迎え

集会の途中で退出のためにお迎えに来たときは、最寄りのリーダーに一言声をかけてください。その旨を隊長に伝え許可を得た後、活動の頃合いをみて担当リーダーが帰り支度をさせて、保護者のところにお連れします。

コラム BE WILD

● スマートネスって？

アンケートによると、保護者が子供をボーイスカウトに入れたいと思うのは「ボーイスカウトはきちんとしている」というイメージがあるから、が多くを占めています。スカウティングでは「スマートネス」を重視している結果その様に映るのだと思います。

「スマートネス」とは「スマート (smart)」の名詞形です。スマートの意味は、身なりや行動がきちんとして、洗練された；流行の；気のきいた；鋭い；強い；きびきびした；活発な・・・という意味がありますのでそれと同義ととってください。

特にカブスカウトでは、昔からスマートネスをスカウト達の「しつけ」の一環として取り入れてきました。「スマートなスカウトはカッコいい」といったイメージを抱かせて、きちんとした身なり、いつも気が引き締まっていること、自分を律すること、活発に活動すること、進んで物事を行うことが良いスカウトであると意識づけてきました。この年代のスカウトには、まだまだ「しつけ」が必要な時期ですし、物事の善悪の判断についても、成人の指導に左右されます。ですから、この時代にスマートネスを身につけることは、スカウト精神を身につける第一歩となりますし、それが「ボーイスカウトはきちんとしている」という評価につながっていたわけです。

今の社会では、個人とか個性とかが優先される傾向があり、このスマートネスが隠れてしまっているように思われます。ですが、カブスカウトでは、「自分のことは自分でします」というカブ隊のさだめにもあるように、自分の身なりは自分できちんとする、「いつも元気」のモットーにあるように、きびきびとした動作と活発な行動、きちんとした挨拶や返事を心がける等、スマートネスを一つの行動指針として、その活動に取り入れています。

保護者のみなさん、1年前を振り返ってみてください。お子さんがスカウト活動に参加していくにつれて、確実に変化・成長していませんか？ 今年スカウト自身がスマートネスをより意識して活動できるよう、各隊とも取り組んでまいります。